

年度評価シート

課名 福祉総務課

施設の名称 静岡市地域福祉交流プラザ	指定管理者名 社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会
1 履行状況	
(1) 目標達成	
5年後（令和6年度）の年間利用者数 目標値 18,000 人、実績値 10,330 人（前年度 15,572 人） 達成率 57.3%（前年度比 66.3%）	
指定管理期間中の利用者数の推移	
令和2年度 実績値 7,364 人（達成率 40.9%） 令和3年度 実績値 15,125 人（達成率 84.0%） 令和4年度 実績値 18,389 人（達成率 102.0%） 令和5年度 実績値 15,572 人（達成率 86.5%） 令和6年度 実績値 10,330 人（達成率 57.3%）※再掲	
【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 14,904 人	
(2) 施設利用状況	
利用率 会議室 17.8%（前年度 80.8%） ※ただし、前年度は新型コロナウイルス感染症対策課が第2、第3会議室を通年利用	
(3) 人員配置状況	
企画主任者1人、事務職員2人、受付パート職員2人	
(2) 事業実施状況	
地域福祉に関する研修等、啓発・情報提供事業、相談・助言等の事業については、事業計画のとおり良好に実施された。主な事業と参加者は以下のとおり。	
①地域福祉講演会の開催	
今年度は、脳の活性化を図るため、見るだけでなく楽しみながら自分も参加するマジックを教えてもらうことで、認知症予防と、地域コミュニティの活性化の可能性のきっかけとするため、以下の講演を実施した。	
【講演名】「にっこり笑顔♪マジックで認知症予防」	
【実施日時】令和6年10月17日(木)10:00～11:30 【参加者】一般市民62名	
②地域ボランティア入門・養成講座の開催	
城東保健福祉エリアボランティアに特化したボランティア養成講座を実施しサポート役として様々な場面で活躍できるようスキルアップを図った。	

【講座名】「作業療法士ってどんなお仕事？」

【実施日時】令和6年6月26日(水)13:00～14:15【参加者】23名

【講座名】「いざという時に役立つ！パッキング」

【実施日時】令和6年11月27日(水)14:00～16:00【参加者】14名

③地域福祉交流事業の開催

高齢者、子ども子育て、障がい者など多様な領域の関係者や社会福祉に関心のある市民を対象に、定期的な情報交換、交流の機会を提供し、社会福祉への理解と、地域福祉活動の促進を図ることを目的に開催。

【4月】折り紙教室

【5月】民生委員・児童委員協議会パネル展

【6月】「歯と口の健康について考えてみましょう」パネル展

【7月】ボラcafé、絵手紙展

【8月】城東保健福祉センターパネル展

【9月】からだスッキリ！肩こり腰痛にきくツボのおはなし

【10月】「赤い羽根共同募金を知ろう！」パネル展

【11月】静岡市心身障害者ケアセンター利用者作品展

【12月】「おいでよ！児童館♪」展示

【1月】「みんなでHappyニューイヤー！」

【2月】いこいの家 こどもたちの作品展 【3月】なごやか～利用者作品展～

④地域交流イベントの開催

昨年から地域交流まつりの代替事業として実施している下記の事業を実施した。

【講座名】地域交流イベント「おいでよ♪城東」

【実施日時】令和6年12月18日(水)10:00～11:30 【参加者】184名

⑤地域福祉交流プラザだよりの発行

地域福祉交流プラザの役割や事業内容、会議室の利用、地域福祉やボランティア活動について、広く市民に周知するためのWEB版「プラザだよりの」を月1回発信し、また、プラザ内には紙面で配架した。

⑥ホームページの運営

地域福祉交流プラザの役割や事業内容、会議室やボランティア交流室の利用案内や空き状況等について、広く市民に周知するために、講座の案内やボランティア活動の情報、会議室の利用方法等について掲載したホームページ及びブログに掲載し、施設の広報啓発を行った。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応等）

指定管理業務の会議室・ボランティア交流室についての意見・要望について、備品の使い勝手など運用上の点において市民から意見をいただくことがあるが、適宜可能な対応を図っており、対応の難しい案件においても、事情を説明し、理解を得られるように努めている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

利用者満足度調査で、施設利用者に対してアンケートを行った結果、職員の対応については「非常に良い」「良い」が97.4%、「悪い」が0.1%、「無回答」が2.5%であった。利用した場所・施設や設備の使いやすさについては「使いやすかった」が94.5%、「使いにくかった」が0.1%、「無回答」が5.4%であり、利用者の多くにとって適切な施設運営がなされていることがわかる。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務の収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

指定管理業務の収支状況については、人件費については、前年度よりも微増しているが、職員の体制に多少の変動があったためである。施設費については、前年度よりも微減しているが、これは消耗品、備品等の購入や印刷製本費などの縮減に努めた結果によるもので、全体的には前年度より微増しているが問題ないと評価できる。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

実施事業に関しては、施設の設置目的に沿ったものであり、概ね良好に実施されている。利用者満足度調査においては職員の対応及び施設・設備ともに非常に高い満足度であり、適切な運営が行われていることがうかがえる。

実施事業のうち、地域福祉講演会の開催では、認知症予防の観点から、脳の活性化のため見るだけでなく楽しみながら自分も参加するマジックという形式で内容や実施時期等、都度適切に考えられて行われている。

また、地域ボランティア養成講座の開催については、実際に活動するボランティア活動者の意見に応える形で講座内容を決定する等、ボランティアのスキルアップについて効果的な内容を実施することに努めている。

事業を実施する中で、ボランティア交流室における市民の居場所づくりについて、居場所を求める人がどういことを望んでいるか、事業を展開する中で検討を重ね、常に指定管理者として向上心を持って運営していることは評価できる。

全体としては良好な管理運営であったと判断し、○とした。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。